

知事の米国（ニューヨーク、ロサンゼルス）訪問について

令和6年2月14日

国際・経済交流課
畜産振興課

1 概要

本県にとって最重要市場である米国でのトップセールスや宮崎フェアを通じ、宮崎牛をはじめ県産品のPRを行い販路拡大につなげた。

また、宮崎県人会世界大会を契機とした関係強化のため、米国の2つの県人会と意見交換し、本県の魅力発信等においてさらなる連携を深めることを確認した。

2 日程

令和6年1月21日（日）～1月26日（金） 3泊6日

3 参加者

8名（知事、県議会議長、商工観光労働部長、他職員5名）

4 訪問内容

〈ニューヨーク〉1月21日（日）～23日（火）

（1）宮崎牛プロモーション

現地のバイヤーや飲食店関係者など約100名を招待した宮崎牛レセプションを開催した。知事による宮崎牛プレゼンテーションやミヤチクシェフによるカッティングセミナーのほか、県産焼酎を使用したカクテルを提供しPRを行った。



(2) ニューヨーク宮崎県人会

ニューヨーク宮崎県人会の齋藤会長を訪問し、宮崎県人会世界大会の御礼を伝えるとともに、今後の連携強化について意見交換を行った。



(3) ニューヨーク初の期間限定アンテナショップ「ミニコネ」での宮崎フェア

本県ゆかりの企業が期間限定で設置する県産品アンテナショップを訪問し、現地のトレンドや輸出拡大に向けた県産品の可能性について意見交換を行った。



〈ロサンゼルス〉1月23日(火)～24日(水)

(4) 日本料理店「Matsuhisa (松久)」

今シーズンからロサンゼルスドジャースでプレーする大谷選手と山本選手が会食された同店を訪問し、宮崎牛取扱いの御礼と今後のさらなる取扱いをお願いし、宮崎和牛グローブを贈呈した。



(5) 日米文化会館（JACCC）、ジャパンハウス

県と連携協定を締結している日米文化会館のパトリシア館長を訪問し、コロナ禍で中断していた交流の再開と同会館を活用した本県のPRについて意見交換を行った。

また、日本文化の発信拠点となるジャパンハウスの海部館長を訪問し、同施設を活用した本県のPRについて意見交換を行った。



(6) アメリカ宮崎県人会

アメリカ宮崎県人会のジョージ森会長らに対し、宮崎県人会世界大会の御礼を伝えるとともに、今後の連携強化について意見交換を行った。

